

「大志の会」定期講座

2026年3月度（月1回開催 / 全12回講座）

【三月の課題】

業務の標準化とは

工学の設計の分野では、「モジュール化」という言葉が、しばしば使われます。これは、装置・機械・システムを、機能的にまとまった部分（モジュール）に分割し、その組み合わせによって全体を構成する事を表します。例えばプログラム作成で言えば、全体を一つのプログラムとして作成するのではなく、小さな独立した機能の単位に分割し、それらを組み合わせることで全体を構成するという事です。このモジュール化によって、他の機能との複雑な関連を考慮することなく、機能の入れ替え・追加が可能になり、なおかつ保守も容易になります。つまり、システムの生産性や品質の向上を図る事が出来るのです。

そしてここ数年、経済学や経営学の世界でも、この「モジュール化」が注目を浴びています。実はこの言葉は、日本語で「標準化」と訳されます。我々スタッフは、学問的ではなく、実際の現場でそれを行う 役割を担っている事になります。

そこで今回採り上げる課題は、「業務の標準化とは」です。お互いの意識向上を願い、求められる会社、求められる人材を目指すこの機会を大切に、お互い成長して参りましょう。

お問合せ

経営実務研究社 株式会社GSKコミュニケーションズ
〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺2丁目6番地1
TEL: 0564-87-4072 MAIL: info@gskcom.jp

